

東大前期に県勢24人が合格

最多は長野の10人、秀峰1期生も 北信12人、南信2人、地域間で差

東京大学の前期合格者
は10日発表され、県下高
校卒業生は24人が合格し
た(本紙調べ)。昨春は
過去最低の22人であり、
今春は同数値をぞ上回っ

たものの、4通学区制に
なつた平成18年卒業生以
降では、2番目に少ない
数値。引き続き、伸びず
力をさらに伸ばす指導が
求められる結果になつて

いる。

東京大学の前期合格者(本紙調べ)

高校	現役	浪人	計
長野	6	4	10
松本深志	2	2	4
上田	2	1	3
野沢北	1	0	1
佐久長聖	1	0	1
松本秀峰	1	0	1
須坂	0	1	1
屋代	0	1	1
諏訪清陵	0	1	1
伊那北	0	1	1
計	13	11	24

表に今春の東大前期合
格者を高校別に示した
(3月14日現在、本紙調
べ)。最多は長野の10人。
前年を2人上回り、特に
現役は前年の2人から6
人と天増。また、平成
24年度以来の二桁合格者
となる。京大にも現役で
4人が合格している。
次は松本深志の4人。
前年の7人から3人の減。
上田は前年の1人から3
人と大きく増えた。
今春1期生を出した松

本秀峰からは1人の合格
者を出す。同校の1期生
は8人と母数は少ないも
の、東大ほか、名古屋
大、東京医科歯科大等に
合格者を輩出している。
このほか、屋代は平成24
年春以来、伊那北は同25
年春以来の合格者。一方
飯田からの合格者は
いかなかった。

地域別(私立は設置地
域でカウント)で見ると、
北信12人、東信5人、南
信2人、中信5人という
状況。南信からの合格者
が極めて少ない状況にあ
る。

県勢の東大前期合格者
は、昭和50年の95人が最

多で、平成10年の21人が
最少。同18年からは4通
学区制になってからの卒
業生が受験しているが、
大きな変化は見られず、
平成23年からは20人台の
合格者が続いている。伸
ばす力を伸ばす指導が、
義務教育段階から求めら
れる状況だ。